

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 2年 3月19日

事業所名 こども支援センターえがお

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人当たりに対して十分なスペースが確保できていると思います</li> <li>個別療育時にはパーティション等で仕切りをし集中できるように工夫をしている</li> <li>使いやすいうように工夫はしているが、利用児が増えてきているので使いにくさを感じることもある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度に入り、利用児数等に応じた環境設定をその都度変えて対応してきました(食堂2回、朝の支度場3回等)。使いにくさを感じるとの事でしたので、今後も気になる点等がありましたら振り返り時や要望書等で伝えて下さい。その都度、環境設定を考え対応していきます。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切である	13	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が休んだりした場合は放デイから応援をもらったりしてやりくりしている</li> <li>放デイ所属の職員の応援もあるため適切だと思う。利用児童と1対1でじっくりと関わることができる</li> <li>利用児の人数ではなく障害の特性等への対応によっては足りないと感じることもある</li> <li>常勤換算より多い配置である。今後、利用者が増えていくことをそういしながらの工夫が必要である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放デイ職員(兼務配置職員)もおり、配置基準は満たしていますが、利用児の特性等に応じた支援をしていくと職員数が少ないと感じる事があると思います。今後利用児のアセスメントを強化し、必要時には応援をもらえる体制を整え、よりよい支援が提供できるように努めます。</li> </ul>
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚支援を取り入れ、トイレや食堂での環境を整え、自発的行動が出来るようにしている</li> <li>視覚的に分かりやすいよう、環境設定の工夫を心掛けている</li> <li>それぞれの利用者に合わせて環境設定が出来ていると思う</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に合わせて遊戯室の部屋をパーティションで区切り、環境を整えたうえで活動を始められるようにしている</li> <li>毎日の掃除を徹底しているため、清潔に保たれていると思う</li> <li>環境設定はまだまだ改善が必要であると思う</li> <li>換気に心掛けている</li> <li>清潔であるが収納庫が少なかったり、冷暖房(廊下)放送システムの設備の不備等があると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんのアセスメントを強化し、必要に応じた環境設定をその都度整えていきます。</li> <li>センター外で保管できる場を確保し、。整理整頓に努めていきます。</li> <li>設備等においては安全を第一にいろんな人・物等を活用しながら改善に努めていきます。</li> </ul>

業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加できない時は後で記録を読んでいる</li> <li>・毎日の支援が終わった後には必ず振り返りを行い、次の活動に繋げたり後日の主活動をどのように進めて良いかを考えている</li> <li>・朝礼、振り返りの時間を使い意見を出し合っているが、勤務形態も多岐にわたり全員とはなっていないと思われる</li> </ul>	・毎日の振り返り時に連絡ノート等で伝達事項や意見等を出し合うと共に、それぞれが意見を出し合える環境になるよう努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の送迎時、顔を合わせる機会でも口頭で意向や相談を聞き、こちらの様子も伝えてく</li> </ul>	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	5		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が興味のある研修に参加することができている</li> <li>・発達障害、医療、介護、虐待防止、倫理等の研修を実施</li> </ul>	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	16	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントをとる際には、職員同士で話し合いを行い意見交換の場を設けた</li> <li>・保護者の思いや要望に寄り添いながら支援に取り入れるようにしています</li> </ul>	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てファイル福井っ子を使用している</li> </ul>	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の内容の設定はガイドラインに沿って作成されていると思う</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	16	1		
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ずつ立てている</li> <li>・毎日の振り返りや明日の予定を話し合う時間を設けて意見を出し合ったり、その日の様子を伝えあっている</li> <li>・職員ひとり一人考え方や捉え方も違うため難しい時もある</li> </ul>	・一人ひとりの考え方や捉え方が違うと事もあります、目的を共有し、次の立案に繋げていきます。	

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ活動でも曜日によってねらいが違うかなど確認している</li> <li>・固定化しないように職員間で話し合いながら決めている</li> <li>・工夫はしているができていないこともある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ活動でもお子さんや曜日によってねらいや視点が違うため、話し合いを行いながら活動等が固定化しないように努めています。</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	15	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ずつ立てている</li> <li>・毎日の振り返りや明日の予定を話し合う時間を設けて意見を出し合ったり、その日の様子を伝えあっている</li> <li>・打ち合わせを通し内容や役割分担だけでなく、利用児童の予測される行動や危険箇所をあげ対策に努めている</li> <li>・曜日によっては全員で確認し合う事が難しい日もあるが、限られた時間で少しでも話すように努力している</li> </ul>	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ずつ立てている</li> <li>・毎日の振り返りや明日の予定を話し合う時間を設けて意見を出し合ったり、その日の様子を伝えあっている</li> <li>・反省点を取り上げ改善策を見つけるように努めている</li> <li>・職員の勤務時間にもよるが全員参加が難しい時にはノートや書面を活用している</li> </ul>	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	17	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3か月ごとに保護者、相談員、保育士を交えてケース会議を行っている</li> </ul>	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	17	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	3		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	4		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	3		

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てファイル福井つ子を作成し移行支援をおこなっている</li> <li>・通っている保育園等での様子を見ることも必要なのではないかとと思う(保育所訪問は実施していない利用児)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者は保育所等に出向き情報交換等を行っていますが、各担当が保育所等に出向く事は全員行えていません。ただ移行支援に関しては引き続き「子育てファイルふくいっ子」で繋げていくため、作成スキルを身につけていきます。</li> </ul>
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供小児療育センター(県)の研修に参加や、他の事業所より講師を招いて研修を実施。また助言等も受けている</li> </ul>	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	8		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り参加するように努めている</li> </ul>	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りや朝の連絡会に職員間で伝え合い統一した対応を行っている</li> <li>・利用当日の様子を記録等で伝えている。またその都度、必要に応じて連絡をしている</li> </ul>	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレント・トレーニングは未だ出来ていないが、保護者の相談等は随時行っている</li> </ul>	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	16	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	16	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に些細な事でも何でも話せる職員になれるように努めています。保護者の方の不安を取り除いたり、解決策を見つけられるよう努めている</li> </ul>	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	7		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15	1		

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	17	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	17	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	17	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	6		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13	4	・保護者に対しては出来ていないと思う	・様々な場面を想定をした訓練(防犯、水害等)と保護者向けの訓練を実施していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17	0	・月に1回くらいは実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	17	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	2		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	16	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	16	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	3		

